

《 競 技 方 法 及 び 規 則 》

○ 軟式野球の部

1. 競技規則

- (1) 「2025年度公認野球規則」及び競技者必携の学童に関する事項ならびに特別規則を適用する。
※ 一日の最大投球数は70球とする。(小学4年生以下は60球)
- (2) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号とし、金属バット、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップは全日本軟式野球連盟(J S B B)公認の物とする。

2. 参加資格

- (1) 小学6年生までの児童で、硬式ボール及びKボールを使用している団体に登録している選手は、認めない。
- (2) ベンチには、監督、コーチを含む登録選手(20名以内)、責任者、スコアラー、マネージャー以外の者は入れない。

3. 大会規定及び申し合わせ事項

- (1) 参加チームは、試合開始予定1時間前までに到着し、大会本部にて受付を行うこと。
- (2) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前にメンバー表3部と**試合球3個**を本部に提出し主将のジャンケンにて攻守を決める。なお、第2試合以降のチームは、試合予定時刻の1時間前までに会場到着し、前試合の4回終了時にメンバー表3部と**試合球3個**を本部に提出すること。
- (3) 試合は6回戦とし、試合時間は80分として、75分を過ぎて新しいイニングに入らない。ただし、最終日は試合時間を90分として、85分を過ぎて新しいイニングに入らない。なお、後攻のチームが勝っていて攻撃中の場合、その時点で攻撃を打ち切るものとする。同点の場合は新しいイニングに入らないでタイブレーク方式(1回)で勝敗を決する。さらに同点の場合には、抽選とする。なお、決勝戦の場合は、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
- (4) コールドゲームは、5回以降7点以上得点差があった場合に適用する。
- (5) シートノックは原則5分間とし、ノッカーは、必ず選手と同一のユニフォームを着用すること。
- (6) 暗黒及び降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以降試合成立とする。なお、試合が不成立の場合、再試合は1回戦から改めて行う。
- (7) 抗議権は、監督及び主将とする。
- (8) ベンチは、組合せ番号の若い方が1塁側とする。
- (9) 出場チームは、必ずユニフォームを着用し、背番号を付けること。(監督、コーチも同じ)
- (10) 打者・走者はヘルメット、捕手は守備時のヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず着用すること。(投球練習時の控え捕手もマスク、プロテクターを着用)
次打者・ランナー・ベースコーチもヘルメットを着用すること。
- (11) 審判については、以下のとおりとする。
 - ① 球審は、全て主催者が行う。なお、最終日の審判は全て主催者が行う。
 - ② ポール出しについては対戦チームで行い、スコアについては大会本部が行う。
 - ③ 第1日目・第2日目 帯同審判(球審は主催者)
 - 1日2試合の場合
 - 第 一 試 合 : 第二試合より各チーム2名
 - 第 二 試 合 : 第一試合より各チーム2名
 - 1日3試合の場合
 - 第 一 試 合 : 第二試合より各チーム2名
 - 第 二 試 合 : 第三試合より各チーム2名
 - 第 三 試 合 : 第一・第二試合の敗者チームより各2名
- (12) 試合球は、各チーム3個持参し、それを使用すること。